

12月定例会号

わかやま 市議会 だより

No.108 令和5年(2023年)2月1日発行

目次


- ・特集 議員からのメッセージ P2
- ・12月定例会の概要 P4
- ・採決状況 P5
- ・一般質問 P6
- ・委員会審査の概要 P10
- ・市議会からのお知らせ P12

伝えたい
思い




孫を得て、子育て支援の切実さを実感する日々。どの子ども生き生きと育ちあえる市の初志を胸に、一步前進させるため力を尽くします。

もりした さちこ
森下 佐知子
経済文教・IR特別




個人の尊厳が大切にされ、誰もが自分らしく生きられるカラフルな社会に向けて、声なき声に耳を傾け、心を寄せる努力を惜しみません。

さかくち たみこ
坂口 多美子
厚生・広報



年を取っても障害があっても生き生き暮らせる市政を目指してきました。それは結局、過去から未来の自分への贈物だったのです。

ひめだ たかひろ
姫田 高宏
総務・議会運営・IR特別



バリアフリーのまちづくりや地域バスなどの外出支援、医療、介護、子育てで充実の市政に皆さんと一緒に取り組んでまいります。


みなみばた さちよ
南畑 幸代
建設企業

民主クラブ(5人)



2歳5歳男児の親として、子育て環境日本一を目指し、子供たちへ身につく財産を残せるよう、20年40年先を見据えた政策提案を続けます。

やまもと ただすけ
山本 忠相 (幹事長)
経済文教・議会運営・IR特別



あなたと創る、住みよいまちづくり。財政・子育てをメインに政策提案をしています!市民の皆様と一緒に住みよいまちづくりをしていきます。

やまなか としお
山中 敏生
経済文教・広報



フットワークを大切にしながら、地域住民の声を行政に反映できるように、これからも頑張ってください。

かわばた やすふみ
川端 康史
総務・地震特別・IR特別・広報




「批判よりも建設的な提言を」、「机上よりも迅速な行動を」。現場主義をモットーに、誰一人取り残されない社会の実現を目指しています。

なごの ひろひさ
永野 裕久
厚生・議会運営・地震特別

からの
ー
ジ

〈会派別に掲載〉

誰もが安全で安心して暮らせ、災害に強いまちづくりと、個々の生きる力を養っていけるよう支援していきます。

そうがわ あつし
寒川 篤
建設企業

和歌山興志クラブ・日本維新の会(5人)



うごく・つながる・まちづくりをモットーに、将来を見据えたまちづくりに取り組み、政策提言を行い実現してまいります。

おざき まさや
尾崎 方哉 (幹事長)
総務・議会運営



市民の皆様の声を大切に、和歌山市に住んで良かったと思っただけのまちづくりを目指して、引き続き全力で取り組んでまいります。

はやし ゆみ
林 佑美
厚生・広報



最年少市議として当選させていただき皆様へ育てていただきました。今後は2児の父として子育て最前線の目線で活動してまいります!

なかしょうや こうじろう
中庄谷 孝次郎
建設企業・IR特別・広報



「民間企業の知恵をふるざとに」をモットーに行政の前例主義並びに民間との比較から見える行政の無駄に対して一石を投じてまいります。


あかまつ よしひろ
赤松 良寛
経済文教・議会運営・地震特別・IR特別



人はまちによって育てられ、やがて自分たちがまちをつくっていく。育てていただいたまちに感謝し、「志」を実現するため取り組みます。


やまの まいこ
山野 麻衣子
厚生・地震特別

政和クラブ(4人)



「まちづくり」は「ひとづくり」。このまちの未来を見据え、様々な課題に取り組むとともに、次代を担う人材の育成に力を入れてまいります。

しばもと かずき
芝本 和己 (幹事長)
厚生・議会運営・IR特別




人に優しい政策でも窓口や現場での運用次第でストレスの原因になります。人と人の意思が通じ合う市政を目指しています。

きたの hitoshi
北野 均
総務



次世代への責任、もつともつと生き生きと活力にあふれ「安心・安全」に住み続けられる快適なまち、和歌山市のために。

さへき しげあき
佐伯 誠章
経済文教・広報



バリアフリーを議場から提言し続けて24年!! 障がい者も健常者も、お年寄りも子供も誰もが安心して暮らせるまちづくり。

やまもと こういち
山本 宏一
建設企業・地震特別

自由民主党市議団(9人)



行動こそ本音!
未来のために今、
なすべきことは全
身全霊を傾けて取
り組む所存です。
これが私の命の使
い方です。

なかたに けんじ
中谷 謙二 (幹事長)

総務・議会運営



8月の補欠選挙
で当選させていた
だきました。「若さ
と情熱」を持って
安心安全の和歌山
市の実現に向け全
力で取り組んでま
いります。

やまもと だいち
山本 大地

経済文教・広報



人口減少に歯止
めをかけて、躍進
する和歌山市を目
指して、市民の皆
さんが将来に期待
が持てるまちにす
べく、力の限り頑
張ります。

はまだ しんすけ
浜田 真輔

厚生



和歌山市議会
として取り組まな
ければならない課
題は山積していま
す。未来ある子供
たちのために解決
策を熟考し、活動
してまいります。

なかむら もとひこ
中村 元彦

建設企業・議会運営・広報



「少子高齢化」
「子育てと教育」
を議場からただす
をモットーに、住
んで良かった和歌
山市、住みたい和
歌山市となるよう
に取り組めます。

にわ なおこ
丹羽 直子

経済文教・地震特別



フェイスブック
やブログなどSNS
での情報発信に努
め、より身近で分
かりやすい政治を
目指します。やる
なら今しかない!変
わらぬ志です。

とだ まさと
戸田 正人 (議長)

総務・IR特別



和歌山市を元気
にするには、出で
行った若者が戻っ
てきて、地域に根
付き、子供が生ま
れ続けることであ
ります。

いのうえ なおき
井上 直樹

厚生・地震特別



今後とも皆様と
課題を共有し、ま
ちを魅力ある存在
、元気にするという
使命を全うするた
め誠心誠意「新し
い和歌山市を目指
してまいります。」

ふるかわ まさのり
古川 祐典

建設企業・議会運営・広報



開かれた議会を
目指すために、年
4回開会の議会を
見ていただきたい
との思いで、イン
ターネット中継を
実施しております。
ぜひご覧ください。

えんどう ふじお
遠藤 富士雄

建設企業・IR特別

公明党議員団(8人)



15年間の看護
師の経験を生か
し、どこまでも市
民目線で市民に寄
り添い、現場第一
主義で和歌山市民
の命を守る政策を
実現してまいります。

なかお ともき
中尾 友紀 (幹事長)

厚生・議会運営



社会が未曾有の
情勢の中、一人一
人の力がより必要
とされています。
小さな声に耳を傾
け、希望輝く未来
を、市民の皆様と
築いてまいります。

ほり よしこ
堀 良子

経済文教・IR特別・広報



女性の視点から
の防災対策。子育
て支援、地域活動
の充実へ。市民の
方の身近な問題に
寄り添い、課題に
取り組み、住みよ
いまちを目指します。

にしかぜ あきよ
西風 章世

建設企業



常に市民目線と
現場第一主義で、
「住みよい和歌山
市」「暮らしよい和
歌山市」を目指し
て、和歌山市の活
性化に全力で取り
組めます。

そのうち ひろき
園内 浩樹

総務・議会運営・地震特別・IR特別・広報



これまでの常識
や基準だけでは未
来を語れない時代
となりました。何が
必要で何が求めら
れているかを常に
模索し、前進して
まいります。

なかつか たかし
中塚 隆 (副議長)

経済文教



市民の皆様とと
もに活力ある豊か
なまちづくりと自ら
被災した阪神・淡
路大震災を教訓に
災害対策に全力投
球してまいります。

やぶ ひろあき
藪 浩昭

厚生



つつじが丘総合
公園の建設を促進
し、加太・友ヶ島及
び磯の浦のすばら
しさをアピールし、
観光客誘致に頑
張ってまいります。

おくやま あきひろ
奥山 昭博

建設企業・地震特別



初心忘れず、市
民に尽くし即実行!
をモットーに頑張
ります。大好きな和
歌山のため、いつ
も心を前向きに全
ての課題に挑戦し
てまいります。

まつもと てつろう
松本 哲郎

総務

日本共産党和歌山市議員団(6人)



安定した雇用と
安心の社会保障が
暮らしを支え、地
域の活性化につな
がります。市民生活
第一の和歌山市政
の実現に向けて取
り組めます。

なかむら あさと
中村 朝人 (幹事長)

建設企業・議会運営・地震特別・広報



公共交通や市
営住宅など身近な
問題を取り上げて
きました。生活相
談活動を通じて寄
せられる声を、議
会に届けて頑張り
ます。

いもと いちろう
井本 有一

総務・地震特別

特集
vol.21 **議員
メッセ**

12月定例会の概要

開会

12月2日

- ・会期の決定(12月2日～12月22日)
- ・議案説明(報告関係1件、議案21件(補正予算案8件、条例案7件、その他6件))

- ・決算関係の議案(令和4年9月定例市議会議案)
- ・決算特別委員会の委員長報告
- ・反対討論(中村(朝)議員)、採決

一般質問等

12月6日

- ・山中敏生議員、坂口多美子議員、林 佑美議員、姫田高宏議員

12月7日

- ・中村元彦議員、森下佐知子議員、川端康史議員、山本大地議員

12月8日

- ・赤松良寛議員、中村朝人議員、山野麻衣子議員、井本有一議員

12月9日

- ・園内浩樹議員、山本忠相議員、藪 浩昭議員
- ・追加議案の説明(補正予算案1件)

12月12日

- ・南畑幸代議員、芝本和己議員、古川祐典議員(P6～P9に概要掲載)
- ・議案の委員会付託

常任委員会等

12月13日～16日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

12月19日

- ・議案訂正の説明(補正予算案2件)、承認

12月20日

- ・総務委員会、建設企業委員会で議案について審査
- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決並びに請願の審査(P10～P11に概要掲載)

令和4年度予算(12月補正後)

| | |
|--------------|--------------------------------------|
| 一般会計 | 1,596億9,372万5千円 (補正額22億4,380万3千円) |
| 特別会計及び公営企業会計 | 1,396億109万8千円 (補正額4億890万3千円) |
| 合計 | 2,992億9,482万3千円 |

補正予算の概要

一般会計では、新型コロナウイルスワクチン接種事業、PCR検査費用等助成事業、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労事業、道路施設老朽化対策事業、出産・子育て応援交付金事業、省エネ家電買い替え促進事業、小学校給食費無償化事業などに要する経費が計上されました。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計で、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う傷病手当金支給事業などに要する経費が計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

特別委員会

12月20日

- ・地震等災害対策特別委員会

閉会

12月22日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(姫田議員)、採決
- ・請願(1件)
- ・賛成討論(井本議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件6件)、採決
- ・議員発議(条例の制定1件)、採決

議場見学のご案内



和歌山市議会では、市議会をより身近に感じていただくため、議場見学を随時受け付けています。

【対象者】どなたでも見学できます。

【見学時間】30分程度

【見学場所】本会議場、委員会室、議会図書室などの議会施設

【見学可能日】平日(土・日・祝日を除く。) ※議会開会中は見学できません。

ご希望の方は、議事調査課(☎435-1120)までご連絡ください。



12月定例会採決状況

※議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」と表記しています。
なお、議長は通常、採決に加わらないため「/」としています。また、議員名は、会派ごとに議席番号順に表記しています。
※採決状況は、市議会ホームページでもご覧いただけます。

Table with columns for 議案番号, 件名, 結果, and 議員名 (grouped by party: 自由民主党市議員団, 公明党議員団, 日本共産党議員団, 民主クラブ, 和歌山興志クラブ 日本維新の会, 政和クラブ). Rows include various budget items and resolutions.

議員発議ってなに？

議案の多くは市長から議長に提出されますが、議員から提出することもあります。これを議員発議といいます。議員発議では、主に意見書、決議、条例案等が提案され、和歌山市議会では令和3年度実績で5件の発議を可決しています。
可決した意見書、決議、条例等は、市議会ホームページでご覧いただけます。



ピックアップ
PickUp!

一般質問

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継がご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

自由民主党市議団



なかむら もとひこ
中村 元彦

動物愛護の推進

問 動物愛護管理センターでは、殺処分ゼロを目指していると思うが、現状はどうか。

また、虐待を受けた動物を救出するため、何か行動できないか。

答 犬の殺処分は令和2年度にゼロとなり、令和4年11月末まで継続中である。

また、虐待疑いの通報があった場合、実態調査するとともに指導、助言を行っている。今後も関係機関等と連携し、情報収集を行い、解決に向け努めていく。

喫煙所の整備

問 まちや施設を訪れた喫煙者に優しく、望まない受動喫煙に配慮した喫煙所の設置が必要であると考え。市の施設への喫煙所の設置に対する市長の考えはどうか。

答 市の施設への屋外分煙施設等の設置について、どのような場所や形態が望ましいか研究していく。

就学前児童の環境整備

問 待機児童が発生している状況の中、打開策を考える必要がある。今後、待機児童解消に向け、令和6年度までどのような対応策を考えているか。

答 保護者や地域における保育ニーズを的確に把握し、保育所等において0歳児から2歳児までの受入れ拡大を図る施設整備や保育士の人員確保に努めていく。

人口の適正規模



やまもと だいち
山本 大地

問 人口の増減には、死亡数と出生数の差による自然増減と、流出数と流入数の差による社会増減があるが、社会増減は政策次第で効果が出るものであり、数字目標を立て取り組むべきものであると考える。人口減少社会に対する政策の中で、本市にとつて都市機能を維持するために必要となる人口の規模をどう考えるか。

答 人口減少が進むと行政サービスの低下など都市機能維持が困難となる。都市機能を維持するため必要な人口規模は30万人程度とし、2040年に目指すべき人口展望は30万人を下回らないことと定めている。

若者の転出抑制

問 数年前までは県外の大学への進学率は30年連続で全国1位となるなど、若者の進学による人口流出が止

まらない県であった。しかし、大学の開校により、若い世代の市内就職が期待でき、就職時の転出抑制につながると考える。新設された5大学について、現在の在校生数及び本市に就職した卒業生数はどれくらいか。

答 5大学の合計在校學生数は、令和4年4月現在で1390人、令和8年4月には、2200人となる見込みである。また、令和4年3月に初の卒業生を出した東京医療保健大学と歌山看護学部では、卒業生の約7割が市内で就職している。

危機管理



ふるかわ まさのり
古川 祐典

問 六十谷水管橋破損に伴う大規模断水においては、市民への情報提供の在り方や給水現場の手配など課題が浮き彫りとなった。

断水時は、自治会やボランティア、住民同士が助け合い活躍していたが、有事の際は、行政が主体となり、

初動から市民との連携、協力体制を図れる環境づくりが必要である。

断水発生時に浮き彫りとなった課題について、今後どう対処していくのか。

答 情報提供の在り方については、情報の二元化を徹底した上で共有を図り、市民への迅速な発信に努めている。

今後、応急給水において、給水残量や現場の混雑状況などが可視化できるアプリなどを積極的に活用することで、給水車の配車を効率的に行い、給水拠点の拡大につなげていきたいと考えている。

自衛隊との連携

問 平常時から自衛隊等関係機関と顔の見える付き合いが大切である。有事の際、災害対処の実務能力を持ち、自衛隊等との人的ネットワークを生かした連携を行うなど、防災調整役となる人材として、日頃から専門的に関わる退職自衛官を配置してはどうか。

答 退職自衛官の採用については、関係部局と協議し、配置に向け検討していく。



そのうち ひろき
園内 浩樹

少子化対策の推進・拡充

問 「子育て環境日本一」に向け、少子化対策の更なる推進、拡充を図る必要がある。

子ども科学館や和歌山城など市有施設の親子とももの無料化、1歳までのおむつとミルクの無料化、第二子からの保育料無料化、LINEで直接子育ての相談ができる体制の構築について、実施できないか。



答 市有施設の親子とももの

無料化については、施設ごとに検討していく。また、1歳までのおむつとミルクの無料化は、国と併せて実施できないか研究を進める。

次に、保育料無料化の制度拡充については、国、県の動向を注視していく。最後に、LINEでの直接相談については、妊娠期から子育て期までの相談支援体制の構築について、検討を進めていく。

電気自動車購入時の補助

問 地球温暖化対策として、温室効果ガス排出量の削減が叫ばれている中、2050年のカーボンニュートラルに向け、市民の方が電気自動車を購入しやすくなるような環境づくりが必要であると考える。

そこで、充電設備にも利用可能な電気自動車購入時の補助金制度を実施してはどうか。

答 個人による電気自動車の購入や充電設備の設置については、普及促進に向けた施策として補助制度の充実等が考えられる。また、地球温暖化対策としても重

要かつ効果的な施策という認識のもと検討していく。



ひろあき
やぶ 浩昭

造血幹細胞移植後のワクチン再接種

問 造血幹細胞移植は、血液を作る元になる細胞を移植し、白血病など、がんの完治を目指して行われる治療方法である。移植を行うと、幼児期に受けた予防接種の効果が低下、消失するため、感染症にかかりやすくなる。特に子供は、感染症にり患するリスクが高いことから、重症化防止のためにもワクチンの再接種が推奨されている。しかし、再接種費用は全額自己負担となるため、経済的負担が大きくなる。また、成人においても、再接種の種類や回数は少なくなるが、同様に負担は大きい。そこで、経済的負担を軽減するため、助成額や対象年齢は違うが、多くの自治体では、再接種費用の助成を行っている。

移植後に、感染症から命を守るための再接種であることから、本市においては、年齢制限をせずに、全ての方に對し、早急に移植後の再接種費用を助成すべきだと考えるがどうか。

答 移植後の不安を抱える全ての方とご家族に少しでも安心していただけるよう、年齢制限を設けない再接種費用の助成の実施に向けて取り組んでいく。



带状疱疹ワクチン接種

問 高齢者に多くなる带状疱疹を予防する観点から、ワクチンの接種費用を助成すべきだと考えるがどうか。

答 今後、定期接種化の論点となるワクチンの有効性及び安全性及び持続性などの議

論の進捗を把握し、対応を検討する。

日本共産党議員団



さかくち たみこ
坂口 多美子

学童保育の拡充

問 保護者から要望の多い「トイレが外」「グラウンドで遊べない」「おやつが駄菓子」の改善は早急に進めるべきだと思いがどうか。

答 保護者の要望については、検討を行い、利用している児童が健やかに育つことができる運営に努める。



ひめだ たかひろ
姫田 高宏

大学生への生活支援

問 経済的に困窮する大学生に支援が必要だと思いが、多くの大学を誘致してきた市長の考えはどうか。

答 経済的に困窮して学業に

専念できない状況は望ましくないと、大学にヒアリング等を行った上で必要に応じて検討していく。



もりした ざちこ
森下 佐知子

動物愛護管理センター

問 殺処分ゼロの事業にボランティアの協力は不可欠だが、市との位置づけを明確にし、市民からの信頼を得られるようにするべきではないか。

答 どの団体とも適切な関係を保ちながら協力する必要があると考える。



なかむら あさと
中村 朝人

学校給食／通級指導教室

問 給食費の無償化は、給食を教育の一環として捉え子供たちの発達に責任を持つ上で大切である。完全無償化にするべきではないか。

答 早期に実現したい。

問 個別課題に向き合った教育環境のため通級指導教室を増設すべきではないか。県に要望していく。



いもと ゆういち
井本 有一

中小事業者への支援継続を

問 コロナ感染の終息が見えない中、中小事業者は廃業の危機に直面している。事業者支援金を再び実施するべきではないか。

答 経済情勢は持ち直しているとされ、事業者への一律の支援策から転換し、再構築支援を進めている。



みなみはた さちよ
南畑 幸代

水道行政

問 新水道事業ビジョンの中で水道料金の負担増が示されている。市民負担の軽減の取組の必要性について、市長の考えはどうか。

答 全国的に水道料金収入

の減少と施設の老朽化等が深刻な問題となっている。引き続き補助対象事業となるよう国に要望していく。

民主クラブ



やまなか としお
山中 敏生

小学校給食費の無償化

問 急激な物価上昇が続く中、最も負担が増える子育て世帯への負担軽減策として、また今後の子育て世代による消費の拡大や税収の増加、将来の和歌山市の発展のために小学校給食の無償化を実施できないか。

答 急激な物価上昇は子育て世帯に特に大きな負担であり、今後、県と連携しながら早期に実現したい。

特定不妊治療費の助成

問 保険適用外・保険適用内の治療について、市独自の補助はできないか。

答 国や県の動向を注視するとともに、独自の助成制度

を調査・検討していく。



かわばた やすふみ
川端 康史

市街化調整区域

問 水稻の作付面積や収穫量が減少傾向となり、農家の高齢化が進む中、南部ブロックの農業(田)の将来性について、どう考えるか。

答 三田、岡崎、安原地区は、集団的に形の整った田が連なる優良な水田地帯となっている。営農意欲の高い担い手や農業後継者などへ農地の集積・集約を進め、農地の保全を図っていく。

問 南東部地域のまちづくりの将来性について、どう考えているか。

答 農業振興と土地利用の調和を図りつつ、社会経済状況の変化を見極め、将来にわたって快適に暮らせる地域づくりを行っていく。



やまもと ただすけ
山本 忠相

自転車の活用推進

問 脱炭素には移動手段の転換、モーダルシフトが重要である。まずは、市内中心部への自動車流入の制限など他手段への転換を図るきっかけづくりが必要である。その際は、先に利用空間の整備を行わないと、手段の転換は図れず、脱炭素は進まないと考ええる。コンパクトシティと脱炭素を進める市長の考えはどうか。

答 自転車やグリーンスクーター、モビリティなどの活用がしやすい新モビリティ先進都市を目指し、新たな整備を進めていく。また、人や環境に優しい誰もが安心、安全で快適に移動できるまちづくりに取り組んでいく。

和歌山興志クラブ・日本維新の会



はやし ゆみ
林 佑美

新水道事業のビジョン

問 今後、収益の悪化が想定され、水道料金的大幅な値上げが必要とされる中、事業費が膨大にかかる送水管の複線化と新浄水場の建設を決めた根拠は何か。また、約260億円の事業費が必要となるが、財源確保はどうするのか。

答 南海トラフ巨大地震や、想定外の自然災害などを考えれば、新浄水場を建設し、2つの浄水場を運用することでリスクの分散と低減を図ることが望ましいと考える。また、水道料金の適正化を図りながら、企業債を活用することに加え、補助金、出資金を活用できるように国などに要望していく。



あかまつ よしひろ
赤松 良寛

地域コミュニティ

問 現在、自治会加入世帯は減少傾向であり、民生委員は定数に満たない状況である。各地域において社会的弱者が見過ごされないようにすることが重要だが、

このような現状から、将来における地域コミュニティ、弱者へのセーフティネットの在り方をどう考えるか。

答 自治会が主体的に取り組み、民生委員は関係機関と地域を見守り、行政は地域の取組に対し、連携・支援する体制づくりが必要である。また、行政をはじめ多機関で支えることが、地域コミュニティ活性化及び弱者へのセーフティネット強化につながると思われる。



やまの まいこ
山野 麻衣子

観光行政

問 和歌山ジャズマラソンが3年ぶりに開催され、約6千人が参加した。各地でマラソン大会を活用した地域活性化に取り組まれる中、リピーター確保に向け、市内店舗で使えるチケットを付けるなどの試みが観光や経済効果につながると考える。今後、ツーリズム行政を進める必要があると考えますが、市長はどのようなこ

政和クラブ

とをしているか。

答 本市の魅力ある自然・歴史・文化などのコンテンツを活用し観光と融合することで、更なる魅力の向上、宿泊や観光消費拡大につながるよう、取り組んでいく。



しばもと かずき
芝本 和己

水道行政

問 本市の浄水施設耐震化率は、中核市平均36.8%に対し0.02%しかない。水道施設で重要なものは、

管理をどうしてきたかである。本市では適正な管理が行われてきたとは思えない。こうした状況は、これまでの管理方法を踏襲し続けてきたことが要因であり、組織として変わる必要がある。11月には、厚生労働省の立入検査があったが、どのような指摘があったのか。また、現在、加納浄水場では、毎日点検をしており、

点検表では「異状なし」とされているにもかかわらず、柱のひび割れやコンクリート片の剥離等が見取れる状態である。特に浄水場の頭脳である管理棟の老朽化は著しいため、建て替えに早期に着手すべきではないか。最後に、水道事業の広域化はどうなっているのか。



場・送水ポンプ棟 管理棟内部

答 厚生労働省からの講評で「認可内容との整合等」について「加納浄水場の浄水フロアが認可と整合していない」、「施設の維持・修繕」について「点検の結果、異常に対して必要な措置をしていない」、「危機管理マニュアル」について「テロ対策マニュアルの内容が不十分であった」などの指摘があった。

また、管理棟建設については可能な限り前倒しする。最後に、広域化については、海南市や岩出市など近隣の水道事業者と更新計画等の情報交換を行っている。また、紀の川市との広域化についても話し合いの場を持つようにしていく。

声の市議会だより
(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 議事調査課
☎435-1120 までご連絡ください。

次の定例会は、**2月です!**



委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された議案9件について、慎重審査の結果、可決すべきものと、また、請願1件について、不採択とすべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第7号)中、Jアラート長周期地震動追加改修事業93万5千円について。これは、令和5年2月1日から、緊急地震速報の発表基準に長周期地震動階級の予測値を追加した運用が開始されることから、Jアラート受信機連携設備の改修を行うものです。



人事委員会勧告による人件費の増額749万9千円について。これは、人事委員会の勧告に基づき、一般職の職員に係る給料、職員手当、報酬等を増額するものです。

議案第9号、和歌山市個人情報保護に関する法律施行条例の制定について。これは、デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律により個人情報保護に関する法律が改正され、個人情報取扱い等について法が直接適用されることから、現行の和歌山市個人情報保護条例を廃止し、法の施行に関し必要となる事項を定めるため、条例を制定するものです。

議案第10号、和歌山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について。これは、和歌山市人事委員会が行った職員の給与等に関する報告及び勧告に基づく給料表及び勤勉手当支給率の引上げを行うため、所要の改正を行うものです。

議案第18号、訴えの提起について。これは、本市所有の土地にある建物等について、土地の所有権に基づく妨害排除請求として相手方に対し、建物の収去等及び土地の明渡し並びに訴訟費用の負担を求めらるるものです。

なお、審査過程において、世界津波の日に併せた各種訓練、事前復興計画の策定、地方税統一QRコードについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

厚生委員会

当委員会に付託された議案5件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第7号)中、マイナンバーカード普及促進事業1049万1千円について。これは、マイナンバーカードの普及促進による窓口強化のため、会計年度任用職員を増員するものです。

子育て広場事業81万3千円について。これは、民間企業からの寄付を活用し、子育て広場事業を充実させるための物品の購入を行うものです。

新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労事業1億6千万円について。これは、新型コロナウイルス感染症に対応・従事した医療従事者等に対して、塚本治雄基金を活用し、慰労の意を表すものです。

議案第2号、令和4年度和歌山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)中、傷病手当金支給事業1024万6千円について。これは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、被用者及び事業所得がある被保険者に対する一定の傷病手当金の支給を増額補正

するものです。

議案第22号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第8号)中、出産・子育て応援交付金事業4億7722万5千円について。これは、国補正を活用し、妊娠届出時から妊娠・子育て家庭に寄り添う伴走型の相談支援を行うとともに、妊娠届出時及び出生届出後に一定の助成金を支給するものです。

省エネ家電買い替え促進事業1億169万8千円について。これは、市民生活の負担を軽減するとともに、地域の脱炭素化を推進するため、エアコン又は冷蔵庫を省エネ性能に優れたものに買い替える購入者に対し、購入価格の一部を補助するものです。



なお、審査過程において、動物愛護管理センターに係る指摘事項とその対応、和歌山市立認定こども園整備計画、令和5年度からの青岸エネルギーセンター運転維持管理業務の委託、令和5年度からの青岸汚泥再生処理センター運転管理業務の委託、太陽光発電事業の進捗などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



委員会の模様をインターネットで配信しています！

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案6件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第7号)中、既存産業の成長促進事業100万円について。これは、市内産業の活性化を図るため、世代や業種の垣根を越えた交流を行い、新たな価値の創造を通じて人材育成する場として設立される熱中小学校開校に要する費用を一部補助するものです。

青少年国際交流センター管理運営事業について。これは、令和5年度から令和9年度までの期間、限度額を2億7084万5千円とする債務負担行為の補正で、青少年国際交流センターの指定管理業務委託を行うものです。

図書館システム整備事業について。これは、令和5年度から令和



青少年国際交流センター

10年度までの期間、限度額を2億7130万4千円とする債務負担行為の補正で、市民図書館及びコミュニティセンター図書館の図書館システムを整備するものです。

議案第14号、和歌山市公営企業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について。こ

れは、集落排水事業について、市民サービスの向上及び経営の効率化を目的に、国から地方公営企業法の適用が要請されていることから、農業及び漁業集落排水事業に係る会計処理を公営企業会計に移行させ、令和5年度から地方公営企業法を全部適用するため、所要の改正を行うものです。

議案第22号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第8号)中、小学校給食費無償化事業1億7689万6千円について。これは、子育て世帯への経済的支援及び学校給食の安定的な供給のため、小学校の3学期分の給食費を無償化するものです。

なお、審査過程において、つつじが丘総合公園整備事業、(仮称)市場南用地道の駅等整備事業者の募集、和歌山市中学校給食等実施計画(素案)概要版、和歌山市立認定こども園整備計画などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

建設企業委員会

当委員会に付託された議案8件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第7号)中、道路施設老朽化対策事業3000万円について。これは、国補正を活用し、小規模橋りょうの点検及び修繕、中之島歩道橋の改修工事を行うものです。

地方道整備事業1億6273万6千円について。これは、国補正を活用し、坂田磯の浦線等の整備を行うものです。

準用河川改修事業1億9500万円について。これは、国補正を活用し、永山川の河川改修整備を行うものです。

貴志川線運行継続支援事業4660万1千円について。これは、貴志川線の安全な運行継続を図るため、設備修繕に係る費用に対し補助金を交付するものです。

都市計画道路整備事業1億6395万8千円について。これは、国補正を活用し、今福神前線の整備を行うものです。

紀和駅団地防水改修事業1306万8千円について。これは、台

風14号の影響を受けた紀和駅団地の防水改修工事を行うものです。



紀和駅団地8号棟の屋上

救急高度化等推進整備事業126万1千円について。これは、救急業務に関わる職員の新型コロナウイルス感染症対策のため、救急用手袋等を購入するものです。

議案第6号、令和4年度和歌山市水道事業会計補正予算(第1号)中、加納浄水場更新設備事業について。これは、令和5年度から令和8年度までの期間、限度額を59億5100万円とする債務負担行為の補正で、加納浄水場ろ過池混和池築造工事を行うものです。

なお、審査過程において、送水管の複線化・新浄水場建設(案)(パブリックコメント)と第2回和歌山市水道事業ビジョン検討会議の結果)、和歌山市マンション管理適正化推進計画(素案)に対する意見募集結果などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

「和歌山市議会の個人情報の保護に関する条例」を制定しました!

令和5年4月1日から「個人情報の保護に関する法律」の改正法が施行されますが、議会は当該法律の適用除外となっています。そこで、議会として自律的に個人情報の保護を図る必要があることから、議会内へ作業部会を設置し、法律の専門家を講師に招いて県下の市議会と合同で研修会を開催するなど、様々な角度から議論・研さんを重ね、12月定例会において、議員発議により条例を制定しました。

制定された条例は和歌山市議会ホームページでご覧いただけます。



条例をご覧いただけます

「いらっしゃいませ〜! えっ、議長来てくれたん!?!」 ~市高生と交流しました!~

議長 「おー、みんな元気いっぱいやな! コロナの影響で高校生活はどうやった?」

生徒A 「部活が休みになったり、自由に行動できなったり、つらかったです」

生徒B 「学級閉鎖でオンライン授業も経験しました」

生徒C 「なくなった行事もあったけど、今年は市高デパート開催できてうれしいです!」

議長 「みんな、コロナに負けやんと頑張ってるな〜! 応援してるで!」

3年ぶりとなった市高デパートで生徒たちの生の声を聞くことができました。未来を担う生徒たちのために何ができるか、しっかりとサポートしてまいります。



議員連盟

活動 レポート

Vol.24

森林環境保全促進和歌山市議会議員連盟は、水源地の保護や森林環境の保全等を図るため活動しています。その活動の一環として、毎年市内の小学校へ奈良県川上村から講師を招いて、出前講座を開催しています。今年度は雑賀小学校と砂山小学校で開催し、普段使っている水道水が遠くの水源地から運ばれてくることや森を守ることの大切さを学習していただきました。



出前講座の様子

議員連盟

活動 レポート

Vol.25

紀の川大堰に関する和歌山市議会議員連盟及び京奈和・第二阪和連絡道路建設促進和歌山市議会議員連盟は紀の川の整備の推進、新六箇井堰の一部撤去、七瀬川流域浸水対策の促進及び和歌山環状北道路(京奈和・第二阪和連絡道路)の早期事業化に向けて各々活動しています。両議員連盟が合同で、国土交通副大臣をはじめ、国土交通省等に対し、要望活動を行いました。



要望活動の様子

広報委員会からのお知らせ



PR動画できました!

#お察してください #ええやん和歌山市議会

ショート動画です。スマホやパソコンからお気軽にご覧ください。



和歌山市議会
チャンネル
YouTube

和歌山市議会広報委員会

【委員長】 中村 元彦 **【副委員長】** 堀 良子
【委員】 中村 朝人 林 佑美 中庄谷 孝次郎
山中 敏生 川端 康史 山本 大地
坂口 多美子 園内 浩樹 佐伯 誠章

〒640-8511
和歌山市七番丁23番地
和歌山市議会広報委員会 宛
TEL : 432-0022(議会事務局)
FAX : 424-9276
Mail : gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、
植物油インキを使用しています。

